



KUMAMOTO GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin
Kumamoto green rotary·club district 2720 rotary international

2025～
2026年度
テーマ

R.I. 会長テーマ 「よいことのために手を取りあおう」

R.I. 会長 フランチエスコ・アレツツオ

R.I. 2720地区テーマ

「みんなでつなぐ、育てる、
ロータリーリレーションシップ」

R.I. 2720 地区 ガバナー
藤田千克由

熊本G.R.C.テーマ

「ロータリーを楽しみ積極的な参加を！
楽しいロータリー環境自分で作ろう！」

熊本グリーンRC会長
山口 翼

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：山口 翼 ■幹事：田代 武 ■会報担当：江上泰弘
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

UNITE
FOR
GOOD

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

第 1580 回

2025 - 2026 年度 第 15 回

令和 7 年 12 月 1 日

【例会】

1. 閉会・点鐘 18:30

- ・「君が代」
- ・「友と語ろう」（グリーン RC の歌）

2. 食事と交歓

来訪者紹介

なし

友情の握手



会長挨拶 (山口翼会長)

こんばんは。本日もよろしくお願ひ致します。

もう 12 月になりました。あっという間の一年でした。会長になってから約半年経ちますが、残す会長としての大きな行事も、クリスマス会と新春合同例会になりました。あと半年あるので振り返るのはまだ早いですが、大きな課題である会員拡大が残っております。皆様、あと半年頑張って会員を増やしましょう。

最近は特に目まぐるしく色々な出来事があったかと思います。高市政権誕生、熊問

グリーンロータリー・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。

というのは、私にとって出席は決まりました事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

題、中国との摩擦。高市政権の支持率が 75% と高支持率が出ていました。高市政権の高支持率の要因として鈴木宗男議員の娘さんである貴子さんの力が大きいというお話を聞きました。SNS での発信を担当されており、とても上手に発信されている為、メディアの切り抜きに支持率が左右されにくいようです。支持率を下げてやる発言などありましたが、その辺りにも負けないよう環境づくりが出来ているようです。

YouTube で茂木外務大臣のショート動画を見たことある方もいらっしゃるかと思いますが、再生回数がとても多いです。総裁選の最中にそれを見られた高市総理が、「総理になったらこの方と一緒にしたい」と思い、高市さんの願いで SNS を担当されているようです。今後も楽しみです。

北海道の熊問題ですが、熊退治の仕方として木銃で距離をとり熊スプレーで熊を撃退するという銃を使用しない退治方法をとっているようです。この退治法は地元の猟友会からの希望らしいです。なぜかといいますと、手負いの熊はとても凶暴らしく危険なため、この退治方法での希望があったようです。

今回は以上になります。それでは本日もよろしくお願ひ致します。

卓話予定

12/8 「クリスマスに子どもたちに絵本を贈る会」代表 吉田美樹 氏

12/15 九州がつ祭実行委員会 代表 藤山信一史

12/22 「年忘れ家族会」 ホテルキャッスル 11F 「トユールドシャトー」 ※例会中に「年次総会」開催

12/29 例会休会

幹事報告 (田代武幹事)

■ 報告事項 (その他のロータリー関係)

11/1 に行いましたポリオ配当募金の結果報告が井上ガバナー補佐より届いております。熊本第3グループと第4グループ合同で延べ 183 名の参加で 244,250 円集まりました。

慶事

(山下佳介クラブ管理運営委員 (親睦担当長))

12月誕生日会

河島一夫 S27.12.16 本田美保 .12.30

下田祐輝 S53.12.1

野元知明 S58.12.19



12月誕生日会 河島一夫会員と野元知明会員

出席報告 (西本周平会員)

	会員総数	22名	出席率	
12月1日	出席免除会員数	0名	69. 18%	
	計算上会員数	22名		
	出席会員数	15名		
10月27日	前回の出席会員数	12名	66. 67%	
	メークアップ数	2名		
	修正出席会員数	14名		
メークアップ済会員及メークアップ訪問先				
・11/1 ポリオ街頭募金活動				
田上会員、宮部会員				

委員会報告

◆ 熊本グリーンローターアクトよりお願い

報告者：山口悦史青少年奉仕委員長

アクトの方より来年の3月21日（土）に「留学生交流会」という行事を主催する事になり台湾の学生さん達も参加される事になっており、その中で和菓子の職人さんを招いて和菓子作りの体験をする企画を考えてい

る。もう和菓子職人さんは手配済み。手頃な値段で飲食も出来る40人～70人くらい入れる会場を探しているとの事。心当たりがあれば教えて下さい。

スマイル (山口悦史会員)

●山口翼君、田代武君、西本周平君 「本日は、新入会員の野元会員の卓話楽しみにしています。どうぞ宜しくお願ひ致します。」

●野元知明君 「本日は貴重な時間を私の話のために頂きありがとうございます。よろしくお願ひ致します。」

●宮部康弘君、河島一夫君 「本日の野元さんの卓話楽しみにしました。熱い話よろしくお願ひ致します。」

●田上裕章君 ①「野元さんの卓話楽しみです。宜しくお願ひ致します。」②「昨日、熊本西ロータリー40周年式典に参加させて頂きました。「動物と共生する社会をめざして」というテーマでした。私も保護猫団体の会長をさせて頂いているので現状が痛感できて良かったです。」

●田中慎二君 「本日は新入会員の野元会員の卓話大変楽しみです。宜しくお願ひ致します。」

●江上泰弘君、田中純司君、河野景治君、荒木一之君 「あっという間に12月になってしまいました。忙しい（せわしい）月です。体に気を付けて1年を終わりましょう。又、本日の卓話、野元新会員様、楽しみにしていました。宜しくお願ひします。」

●山口悦史君 ①「本日の野元さんの卓話楽しみにしております。」②「私が指導とお手伝いをしているKRS6年チームは去る22、23日全国大会をかけて九州大会に臨みました。全国出場決定戦でラストで逆転をされ惜しくも全国には届きませんでしたが、試合内容はすばらしく、九州のトップチームである事を証明してくれました。子供達の成長に感謝のスマイルをします。」

3. 例会プログラム

卓話者：新入会員卓話 野元知明会員

演題：「自己紹介と事業の紹介」

※内容はP3～P6に掲載

4. 閉会・点鐘

新入会員卓話



本日は貴重な時間を頂き
ありがとうございます

(株)ティーステップ 代表取締役 野元 知明

野元 知明 氏



花よりも花を咲かせる土となる

【経歴】

- 18歳 熊本県立商業高校卒業
- 19歳 幼児体育の修行
- 20歳 スポーツ指導者として起業
- 27歳 ティーステップ設立
- 31歳 法人化し代表取締役就任
- 37歳 嘉島の発達支援事業所を承継
児童福祉事業開始
- 39歳 ちぐさ幼稚園を承継
学校法人和孝学園 理事長就任

【趣味】

- バイク、釣り
- サーフィン、最近ゴルフ

2

会社案内

会社名	株式会社ティーステップ
設立	2012年4月
所在地	熊本市南区島町3-11-26
関連法人	学校法人和孝学園 一般社団法人子ども未来ラボ
従業員数	52名 (正社員 35名、パート 17名)
事業内容	指導者派遣事業 (県内50施設) 教室事業 (体操、サッカー、ダンス、そらばん会員1500名) 福祉事業 (3事業所) 幼稚園事業 イヘント企画運営事業 (年間参加者3万人)

3

MISSION / VALUE

MISSION①
GUEST

MISSION②
CAST

VALUE
FIVE PRIDE

安心と信頼の空間で子どもたちに笑顔と成長を届ける

安心の空間で共に歩み、可能性を育て合う

安心を最優先にする
主体性を大切にする
多様性を武器にする
挑戦がスタンダードにする
調和で前進する

4

母子家庭貧乏少年
人生の出発

5

野元少年の幼少期

毎日何か割れる音がする生活

親父の暴力を止める日々、母と親父の愛人の家に突撃
やがて離婚、母がスナックで働きはじめバチコ依存症に貧困生活へ

01

水が止められる

02

登校時に借金取り
がお出迎え

03

ご飯はお湯をかけないチキンラーメン

6

野元少年の幼少期

野元少年にサッカーという救世主登場

境遇が同じ環境の人間が集まる

ヤンキー街道へ

- 居場所を外に求める
- 存在意義を示すために悪事を
- 社会への不満、希望が見えない

サッカー

- 居場所があった
- 存在意義を示せる
- 希望が見えた

7

野元少年の幼少期

とにかくサッカーに希望と居場所を与えてもらえた

高校3年まで続ける

スポーツで恩返しがしたい
子ども達にスポーツの良さを
伝えたい

↓

いつからか学校の先生になる夢ができる

大学進学へ

兄弟の援助と奨学金を使い
夢を追い大学へ進学

↓

母が大事件を起こす

8



9

野元少年の幼少期

幼少期の学び

- 01 自分で決断する
- 02 人生は自己責任
- 03 止まるな、行け

10



11

運命の出会い

幼児体育の先生という職業との出会い

近所に幼児体育の先生をしている人がいると聞き、会いに行く。最初は稼げないから、自衛隊とかに入った方がいいと断られる。どうしても頭から離れず、授業を見に行かせて頂く。

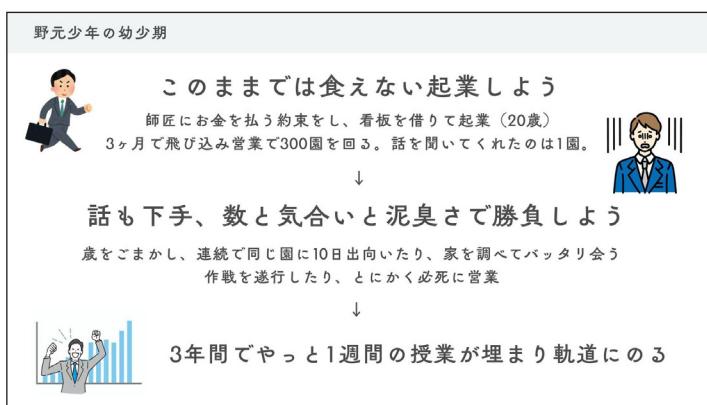
これしか俺にはないと思い
この世界で生きると決意

丁稚奉公のスタート

雇われた駄ではないので、給与は出ない。夜バイトをしながら毎日学びに行った。とにかく極めたい一心だった。大学を卒業する仲間達にも負けたくなかった。師匠からの説教に返事は「はい」か「YES」と決めていた。

恋愛も遊びも捨て
全てを学びに捧げた

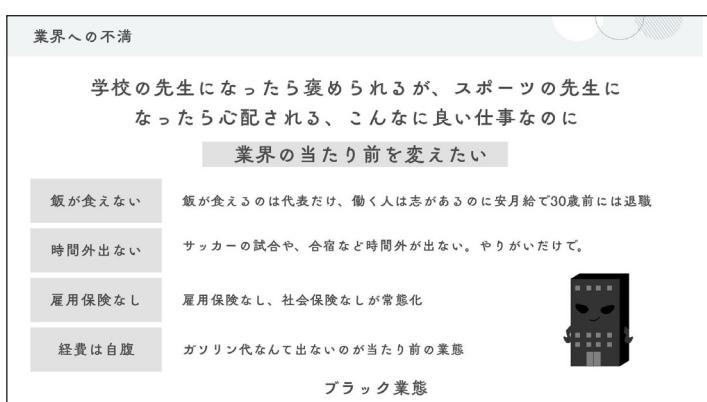
12



13

業界への不満

14



15

業態への不満

仲間集めと、経営の勉強

人間の手の指は5本、5人いれば何かが掴める気がした

1人は同業の個人事業主を宇土のガストに呼び出し、三国志の桃園の誓いの話をし口説く（ガストの番）。2人は明日俺が死ぬと思って聞いてくれと口説く。3人は勝手に名刺を作って口説く。4人は向こうから来てくれた。これで5人が揃う。

周りに経営を学べる人がいない、本を読みあさる

7つの習慣、ビジョナリーカンパニー、思考は現実化する、人を動かす、ドラッガー、タルムード一番響いたのが一倉定の「経営心得」

- 良い会社とか悪い会社とかはない、あるのは良い社長か悪い社長。
- 会社の真的支配者はお客様である。
- 経営計画書は、社員の心に革命をもたらす魔法の書である。

16

業態への不満

4人を前に継続計画書を発表

未来に継いで永遠となる計画書。会社を絶対潰さないという決意。
お客様、志同者、社会にとって良い会社にするという決意。

『こういう会社にしたい。それまでは労働基準法は無視する。訴えたいなら訴えろ、それくらいの覚悟がないと達成できない』



ブラック業態を抜け出すには
ブラックである必要があった
ただ、希望という光が見えると
人は頑張れる



17

2020年

- 会員数 1221名
- 契約園 42施設
- イベント、物販事業展開

事業は順調に成長

安心と信頼の空間で
笑顔と成長を届ける

2016年

4年目

- 会員数 850名
- 契約園 31施設
- ダンス、そらばん教室展開

2012年

創業

- 会員数 238名
- 契約園 14施設
- ナッカー、体操教室

社保完備

時間外
の支給

給与水準
全国平均
を超す

18



コロナで売上0円



コロナで売上ゼロ

事業の多角化

子ども向け総合カンパニーへの挑戦

01

フランチャイズで
塾を開校
大失敗

02

児童発達支援事業
事業譲渡

03

幼稚園継承の
アプローチ

やりたい事ではなかった
お金のためだけの事業

2023年2店舗目開所
2024年3店舗目開所

2023年事業継承
2025年認定こども園化

19

コロナで売上0

教室業から子ども向け総合カンパニーへ

従業員にはまず『安心』を与える
絶対給与は俺が保証する。1円も下げない

『天は自らを助くる者を助く』を伝える
今できる事を全力でしよう。子どもチャレンジ
プロジェクト始動

終息後退会者0を達成
しかし、このままでは従業員を助けれない。

事業の多角化を決意



20



自己実現を事業化



21

コロナで売上ゼロ

児童発達支援、保育所等訪問支援、放課後等デイサービス事業

福祉

指導を行ってる幼稚園、保育園では平均値がとられている。子どもの声を全て聞けないもどしさ。他人との違いが武器のはず。武器が生かせる、認められる場所として開校。

幼稚園

幼稚期は完成する時期ではない。引き出しをたくさん蓄積する時期。感情、判断、何が好きかといいうのは出会った人、事以外からは得られない。国外保育、体験活動だけの園。

『旅する幼稚園』で『自分らしい色見つけよう。』



22

自己実現を事業化

創業から離職者はほぼゼロ

聞き取り分析

欲求を満たしていた

マズローの欲求5段階説

自己超越欲求

自己実現欲求

承認欲求

所属と愛の欲求

安全欲求

生理的欲求

自分らしく生きたい
自分らしさを発揮したい
認められたい、尊敬されたい
名前や出世を得たい
集団の一員として認められたい
公平に扱われたい人へ友情、愛情を得たい
安心感を得たい、危険を避けたい
安心感や性的満足を得たい
豊富でありたい

当社の価値観
VALUE

安心を最優先にする
主体性を大切にする
多様性を武器にする
挑戦がスタンダードにする
調和で前進する

23

24



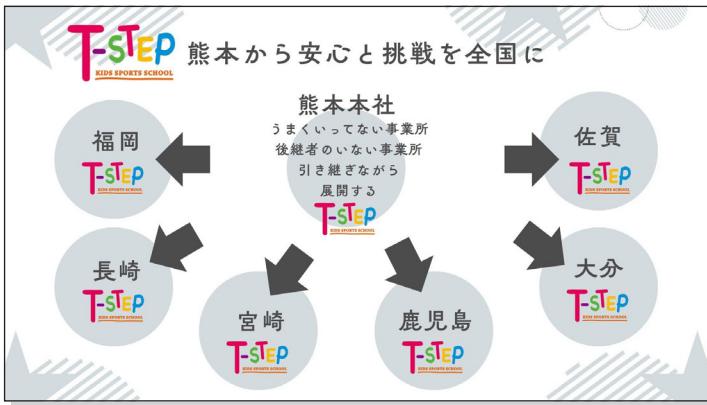
25



26



27



28



29



30